

子どもの権利の視点で学校生活ふりかえってみよう

～ セルフアセスメント表(じこひょうか表) ～

■ それぞれのこうもくを読んで、あなたの考えに最も近いものに○をつけましょう。

		とても そう思う	そう思う	あまり おも 思わない	まったく おも 思わない
子どもの 権利の理解	先生たちは、 「子どもの権利条約」について学び理解している				
	子どもたちは、 学校で「子どもの権利」について学ぶ機会がある				
健全な 学校環境	学校の給食は、子どもの体のことをよく考えて提供されている				
	学校には、子どもが十分な運動をできる環境が 整えられている				
	心と体の健康を保つ生活について、子どもたちは学校で 学ぶことができる				
精神面の 健康	学校には、必要な時に子どもたちから相談ができ、心理的 なサポートをしてくれるおとながいる				
	学校・学級では、子どもたちに過度のストレスを与えない よう、常に配慮がされている				
	サポートが必要な子どもにいつでも手を差し伸べられるよう、先生は 子どもたちの白々の状態(ウェルビーイング)に目を配っている				
教育の質	授業を受けることや理解することが難しいと感じる 子どもは、個別のサポートを受けることができる				
	学校の教室や設備はよく整備され、子どもたちは快適に 学校生活を送れている				
	子どもたちは学校での学びを通して、自分の可能性を 伸ばすことができている				
安全性	学校・学級では、先生と子どもたちが互いに尊重し合い、 子どもたちは安心して過ごさせている				
	校内でいじめが起きた際の対応が決められていて、学校 は責任をもって迅速に対応することができる				
	校舎は安全かつ清潔である(火災報知器の設置、トイレの 衛生状態、空調設備の設置、など)				
意見表明 と 公平性	学校・学級で子どもが何かを変えたいと思ったときには、 相談することのできるおとなが学校内にいる				
	児童・生徒会の活動は活発で、先生は子どもたちの 自主的・実践的な取り組みを大切にしている				
	学校・学級では誰も差別されることなく、みんなが平等に 過ごさせている				

回答者

／ 回答日 年 月 日